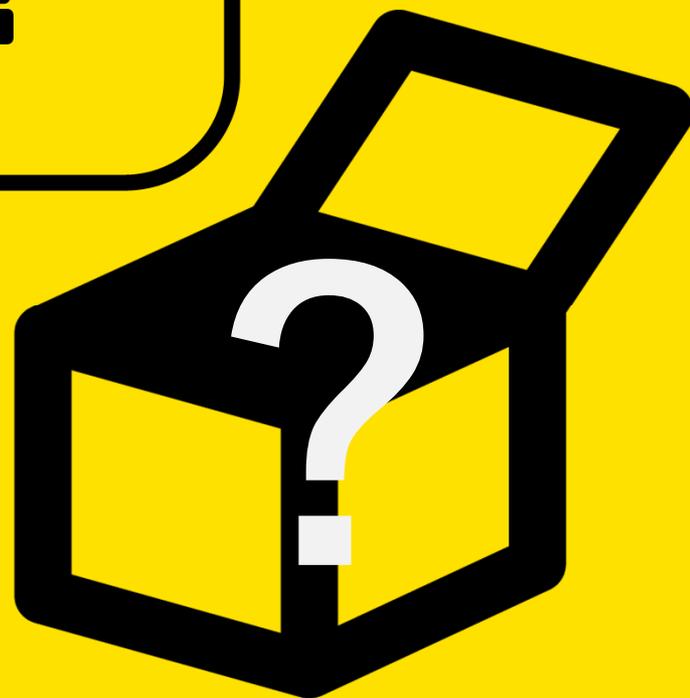


**ファーストミッション
ボックスって何？**

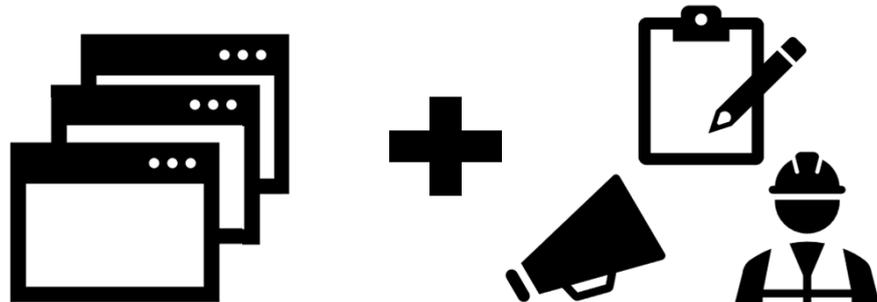


ファーストミッションボックスとは？

F（ファースト）：はじめに

M（ミッション）：やるべき任務

B（ボックス）：手順書と資器材が入った箱



市内**全小学校**
に設置

なぜ必要なのか？

ケース

大規模地震発生！ 自宅での生活が困難又は周辺が危険 避難所へ **避難所が開いてない**

余震が怖い、外は寒い、雨も降ってる、高齢者や赤ちゃん、ケガ人等いろいろな人が集まってきている
しかし、いくら待っても開けてくれる人は現れない
いったいどうしたら...

大規模災害時は、道路事情等により市職員が必ずしも避難所へ参集できるとは限らない

避難所の役割

避難所は生活場所の確保だけでなく、
支援物資の提供や生活再建のための情報が
集まる地域の拠点でもある！

被災者が元の生活に早く戻るためにも
避難所の早期開設&スムーズな運営が必要！

早期開設&スムーズな運営のためには...

避難してきた人たちで避難所を開設&運営！

そのためには手順書と資器材が必要

それを実現したものが、

F・M・B

(ファーストミッションボックス)

なぜ必要？

災害発生時、行政の対応は多岐にわたり、発災直後は市などの行政機関や公的機関による「公助」が期待できないため、自分や家族の身は自分たちで守る「自助」と隣近所や地域の人たちがお互いに協力し助け合う「共助」が求められます。しかし、共助の中心である自主防災組織も発災直後は多くの役割があるため、避難所へすぐに駆けつけることができません。そのため、避難所の開設と運営は、住民自らが行っていく必要があります。

危機管理教育研究所 代表 国崎 信江氏
(ファーストミッションボックス考案者)



任務って鍵を開けるだけじゃないの？

- 本部長：全体把握・指示
- 副本部長：本部長補佐・鍵の管理・進捗管理
- 安全班：建物内外の安全確認
- 検温消毒班：避難者の検温・消毒
- 住居班：区画設営受付
- トイレ班：簡易トイレ設置運営

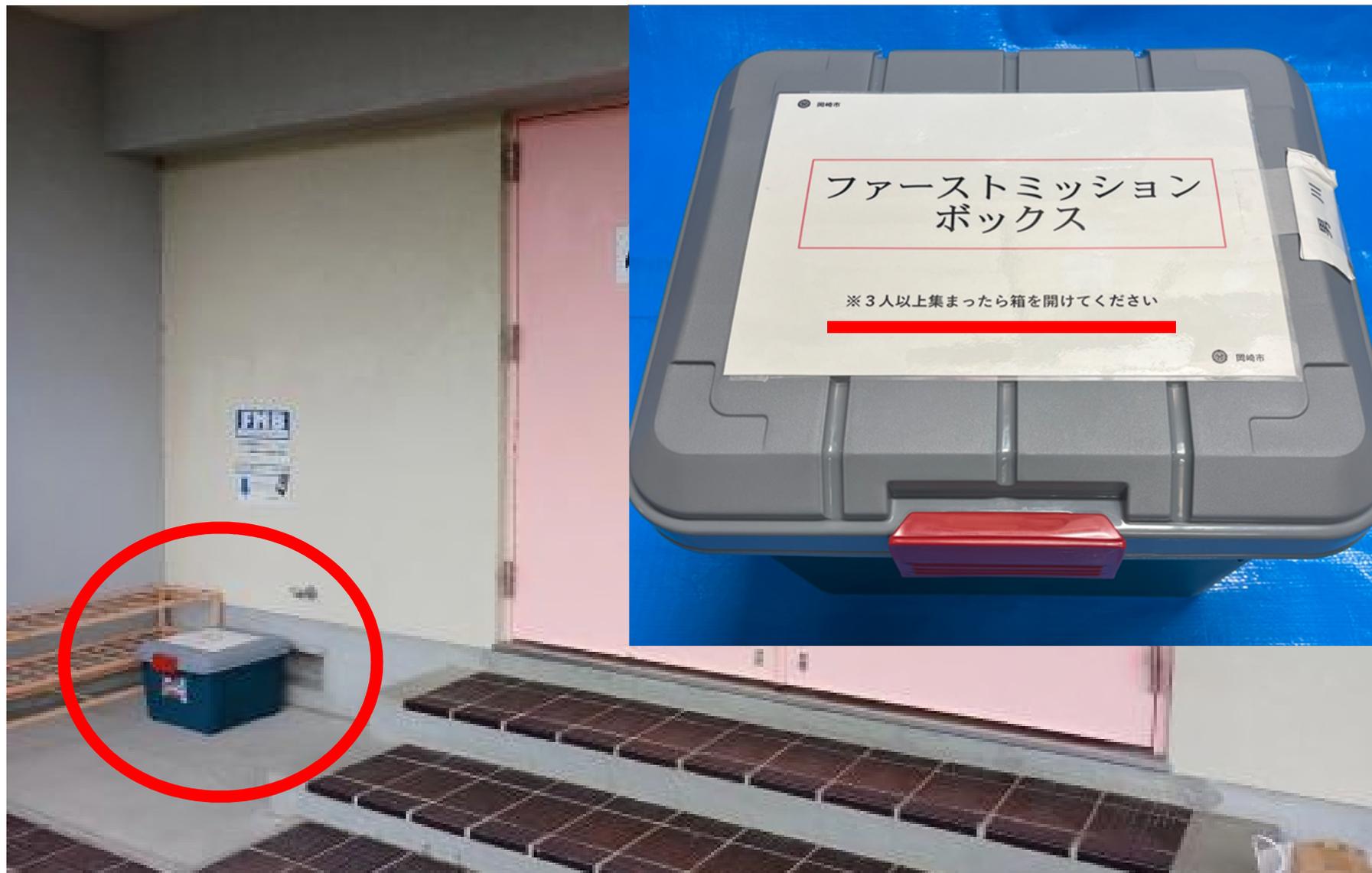
これらをしなかった場合...

- ・天井や照明が落ちてきてケガ・感染症が蔓延
- ・雑魚寝状態・トイレが不衛生で健康被害 etc...

使い方



実物を見てみよう！



手順書の見方

表紙

最初にこの箱を開けた方はこれを読む

《地震災害》 避難所開設の手順書

～本部長～

発災後1時間以内にやるべきことがここに！

根石小学校避難所 2023年10月

任務の内容が
簡潔に書いてある

周りの人によびかけるための
セリフが書いてある

point

1

役割ごとに手順書が分かれている
(本部長、安全班、トイレ班など)

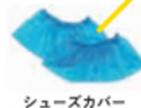
中面

避難所開設の手順書 住居班長



掃除道具を取りに行く

1. 住居班セットの中にあるシューズカバーをつけ、建物内の器具庫へ向かう。
必ず下の経路で行くこと

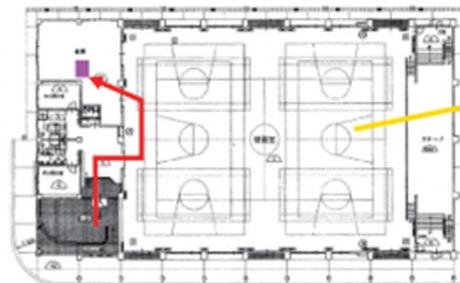


シューズカバー



「体育館の中に入れるので、今から中を掃除します。」

「シューズカバーを履いて、掃除用具を取りに行きましょう。」



point

2

使用する資器材を
写真で示している

point

5

各小学校体育館の
避難所のレイアウト
が書いてある

「誰でもできる」「みんなで作れる」

参考：手順書について

ファーストミッションボックスの 手順書を作りました！

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震においても、道路が寸断され、多数の孤立集落が発生しました。支援の届かない集落では地域住民による「共助」がより一層求められます。本市では、避難所である小学校ごとの手順書を各学区で作成してもらうため、ファーストミッションボックスの考案者を講師に招き、各学区の代表者・市職員の避難所運営担当者を対象にワークショップを開催し、実働訓練と内容の検証を行いました。また、手順書作成支援会を開催し、市内47の全市立小学校の手順書が完成しました。



▲ワークショップの様子



▲実働訓練の様子

市政だよりR6年3月号

使ってみよう！

